

国連防災世界会議プレイベント (1月28日・水)

第3回国連防災世界会議にて、本学は総合フォーラムの一つとして、文部科学省・日本ユネスコ国内委員会と共催し、ESD と人づくり、防災教育をテーマにシンポジウムを開催するにあたり、プレイベント・【東北発！防災教育の新たな展開を考えるワークショップ】～ポスト DESD とポスト HFA を考える～を開催し ESD ユネスコ世界会議での議論を踏まえ、国連防災世界会議に向けた防災教育における ESD の貢献についての議論の予察的整理を行った。学内外の関係者約 250 名が出席した。

① 国連防災世界会議防災教育日本連絡会 事務局長

(東北大学災害科学国際研究所)

・桜井愛子准教授

「HFA 2 と防災教育に関する

“仙台宣言” 発出にむけて」



② 宮城教育大学教育復興支援センター・ 小田隆史特任准教授

「宮教大・ESD 推進の軌跡、震災後の歩み～国連防災世界会議総合フォーラムに向けて」



③ 宮城教育大学 学校教育講座・ 田端健人教授

「ESD と震災復興を通じた教育系大学の連携を目指して」



上記3人の発表の後、参加者による「国連防災世界会議へ向けた教育現場からの期待」と題したワークショップを行った。参加者には現職の教員も多く、短時間ではあったが実りあるワークショップとなった。

本センター所有のTV会議システムを活用して、気仙沼市連携センターやセンター内事務室へ映像を配信した。



コメント：山形大学地域教育文化学部・大学院教育実践研究科（教職大学院）
村山良之教授



参加者による
ワークショップ

参考資料

宮城教育大学 国連防災世界会議プレイベント 概要

東北発！防災教育の新たな展開を考えるワークショップ

～ポスト DESD とポスト HFA をみすえて～

趣旨：第3回国連防災世界会議にて、本学は総合フォーラムのひとつとして、文部科学省と共催し、ESD と人づくり、防災教育をテーマにシンポジウムを開催します。また、同世界会議開催にあたり、関係機関が加入しての、「防災教育日本連絡会」が発足し、国連防災世界会議において、防災教育に関する「仙台宣言」が発出される見込みです。このワークショップでは、防災教育の推進にあたり、本学が推進してきたESDが学校現場の防災教育の推進に果たす役割や、「仙台宣言」とのリンク、その方法について、国連防災世界会議関連事業を計画している学内外の関係者・参加者とともに考えます。

日時 2015年1月28日（水）13:00～15:30

場所 宮城教育大学 萩朋会館大集会室

プログラム（演題は暫定）

13:00～13:10 開会の挨拶

13:10～13:40 「HFA2と防災教育に関する“仙台宣言”発出にむけて」

桜井 愛子（東北大学災害科学国際研究所准教授・防災教育日本連絡会事務局長）

13:40～14:00 「宮教大・ESD推進の軌跡、震災後の歩み

～国連防災世界会議総合フォーラムに向けて」

小田 隆史（宮城教育大学教育復興支援センター特任准教授）

14:00～14:25 「ESDと震災復興を通じた教育系大学の連携を目指して」

田端 健人（宮城教育大学学校教育講座教授・教育復興支援センター兼務）

14:25～14:30 質疑応答

休憩（10分）

14:40～15:25 参加者ワークショップ

（国連防災世界会議へ向けた教育現場からの期待）

15:25～15:30 閉会の挨拶 見上 一幸 宮城教育大学長

主催 宮城教育大学国連防災世界会議実行委員会

協力 国連防災世界会議防災教育日本連絡会